

総合患者支援センター活動報告

がん患者会「hinami（ひなみ）」より 絵手紙教室を開催しました！

↓参加者の作品

- 日 時 令和7年2月14日（金）14時～16時
- 会 場 1階会議室3
- 対 象 乳がん・婦人科系がん治療中または治療後の患者および家族
- 講 師 大坂裕子氏 アート絵手紙「柚子の木」
- 参加人数 13名



がん患者会と総合患者支援センター、包括的がん医療推進委員会の共催で「絵手紙教室」を開催しました。

講師は市内でアート絵手紙「柚子の木」として活動されている大坂裕子先生。絵手紙への向き合い方や描き方など実践をとおしてご指導をいただきました。

今回の絵手紙のテーマは「愛」と「感謝」と「応援」。この絵手紙を1枚は大切な人へ、もう1枚は自分自身に向けて制作しました。参加者の皆さんの作品は同じ被写体でも描く人によって十人十色。どれも味のある作品で、互いの感想を伝えあいました。

参加者は総勢13名で、患者会「hinami」メンバーと当院の大友院長、星副院长、看護部長も加わり、終始和やかな雰囲気となりました。

最後に記念写真を撮って各自、自分の作品は持ち帰っていただきました。

総合患者支援センターよりお知らせ

がん患者さんご家族が集える場所 「hinami（ひなみ）」

- 場 所：当院1階会議室
- 対 象：婦人科系がん、乳がんの患者さんおよび家族
- 日 時：毎月第2金曜日午後2時～4時
- 申込先：総合患者支援センター

<令和7年度予定日>

- 6月20日※ 7月11日
- 8月8日 9月12日
- 10月10日 11月14日
- 12月12日 1月9日
- 2月13日 3月13日
- ※6月のみ第3金曜日

がんピアサポート(個別相談)

- 場 所：当院1階がんサロン室
- 対 象：婦人科系がん、乳がんの患者さんおよび家族
- 日 時：毎月第1木曜日午後2時～4時
- 申込先：総合患者支援センター

<令和7年度予定日>

- 7月3日 8月7日
- 9月4日 10月2日
- 11月6日 12月4日
- 2月5日 3月5日

※体験者がお話を伺います。

◆ 気仙沼市立病院

〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢8番地2
TEL：0226-22-7100（病院代表）

◆ 総合患者支援センター

TEL：0226-22-7178 / FAX：0226-24-2328

総合患者支援センターだより



令和7年6月発行
第39号
気仙沼市立病院

TAKE FREE
ご自由にお持ちください



気仙沼市観光キャラクター
「海の子ホヤぼーや」

新年度のご挨拶 気仙沼市立病院 院長 大友 浩志

ここ数年は地域包括ケア病棟の立ち上げ、旧本吉病院との医療機能再編、病院機能評価受審など病院全体で取り組まなければならないことが山積し、それに向かって職員すべてが一丸となり取り組んできました。おかげさまで何とか達成することができました。地域包括ケア病棟も軌道に乗り、また旧本吉病院との再編も地域の皆様のご理解のおかげで互いに相乗効果を発揮し、地域の医療に貢献し皆様の満足を得られているのではと思っております。

病院機能評価とは当病院が全国の病院と比べ当院のレベルがどの程度なのかの評価を第三者から受けて自分たちの位置を確認し不足しているものを整え、全国レベルの病院にすることです。1年以上かけて各部門の機能、病院組織体制、ガバナンス、医療、看護の質などを検証し改善してきました。昨年11月に受審し今年5月に公益財団法人日本医療機能評価機構から認定の知らせを受け取っています。特に高く評価されたのは年間3,000件以上の救急車の受け入れ、応需率は99%以上であることなどでした。この評価に認定したことは自分たちの病院が一般的に評価される病院になったともいえます。しかしここで胡坐をかくことなくさらに改善し、より信頼される病院になる必要があることを再認識しております。

令和7年度の当病院の方針を「頼られる病院、また来たいと思う病院」としました。そのためには医療、看護の質の維持向上はもちろん接客スキルを向上させ安全・安心な医療を提供します。地域医療従事者と連携し国の新地域医療構想を踏まえ、当院の役割を認識し、地域ニーズに合わせた医療を提供します。病床稼働率を上げ高い救急車応需率を維持し経営を改善し、安定的な医療を提供します。働き方改革を踏まえ働きやすい職場環境を整備し離職率を低下させ地域医療に貢献します。

今年度の方針の達成のためには、総合患者支援センターの役割は非常に重要です。病院の顔として、総合患者支援センターの改革を行い、地域から紹介しやすいシステムづくりに着手してまいりますし、問い合わせなどの返答の一元化を行います。地域の皆様からの愛される病院を目指しつつ、新地域医療構想での役割を担っていきたいと思います。今後とも当院をよろしく願います。

当院からおねがい

- 患者様の待ち時間短縮のため、かかりつけの先生からのFAXによる事前予約を推奨しています。
- 新患の受付は、**午前8時30分から10時まで**となっております。
- 診療科によっては新患受付のない曜日や必ず予約が必要な場合もございますので、外来診療予定表や電話等で事前にご確認ください。
- 事前予約がないと診察までに時間がかかる場合がございます。また、緊急手術などで突然休診となることもございます。ご不便をおかけしますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

気仙沼市立病院 理念・基本方針

- 1 理念
患者さん第一の医療を行います
- 2 基本方針
 - (1) 患者さんの権利を守り、信頼される医療を目指します
 - (2) 新しい医療を取り入れ、安全・安心で質の高い医療を提供します
 - (3) 地域包括ケアシステムの構築を推進し、市民の皆様とともに地域医療を守っていきます
 - (4) 健全な病院運営に努めます

薬を飲むタイミング

食前	食事を始める30分前程度 食べ物の影響を受けやすい薬、漢方薬、吐き気止め等
食後	食事が終わった後30分以内 多くの薬、胃粘膜を刺激しやすい薬
食間	食事と食事の間 (前の食事から2時間後)
食直前	食事を始める10分前以内 糖尿病薬の一部
食直後	食事が終わった後10分以内
就寝前	寝る30分前程度 睡眠薬、便秘薬（一部）

薬を飲み忘れたら

基本的には次の服用時間までに時間があいていれば、気づいた時点ですぐ飲むようにしましょう。

ただし、次の服用時間が迫っている場合には、その分は飲まずに、その次からいつものように飲みます。

2回分を一度に飲んではいけません。なお、薬の種類によっては、飲み忘れたときの対応が異なる場合があります。薬を受け取るときには、必ず医師や薬剤師に確認してください。

【注意】
飲むタイミングが厳密に決められている薬もあります！

薬を服用時の注意①

薬は**コップ一杯の水かぬるま湯で飲む**のが原則です。

水やぬるま湯以外の飲み物で飲むと、薬の効果に影響が出たり、副作用がでやすくなる場合があります。

また、口から入った薬は十分な量の水やぬるま湯によって胃まで送られて溶け、成分が血液中に入ることによって効果が発揮されます。水の量が少ないと喉や食道の途中で薬が張り付いてそこで溶けてしまい、うまく吸収されず十分な効果が期待できません。喉や食道を傷つけて潰瘍を起こすこともあります。

薬を服用時の注意②

薬は表面に特殊なコーティングや製剤上の工夫をされているものがあり、①割ったりカプセルを外しても問題ない薬、②割らない方がいい薬、③割ってはいけない薬があります。

割ってはいけない薬（1）



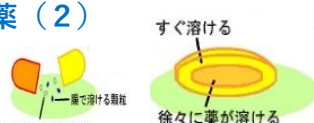
徐放錠・徐放カプセル

成分がゆっくり溶け出して吸収され、長時間効くように作られたもの



割ったり砕いたりすると**血液中の薬の濃度が急激に上がる**

割ってはいけない薬（2）



腸溶錠・カプセル

成分が胃酸によって変化したり胃を刺激したりする場合に胃ではなく腸で溶けるように作られたもの



割ったり砕いたりすると**胃酸で分解されて効果を失ったり胃の粘膜を荒らしたりする**

薬には同じ成分でも異なる形の薬（錠剤、粉薬、シロップ剤など）があります。また、水なしで飲める薬（OD錠）もあります。飲みにくい薬がある場合、潰してもいい錠剤は潰して粉状にしてお渡ししたり、飲みやすい別の形のお薬に変更できる場合があります。

医師や薬剤師にご相談ください。



1 前方支援業務

【主な業務】

- （1）他の医療機関からの外来予約受付・転院調整
- （2）他の医療機関へご紹介・転院調整

【実績】

- （1）他院から紹介受入件数 **3, 646件**（前年度比較**+293件**）
- （2）他院へ紹介件数 **873件**（前年度比較**+18件**）

市内の開業医の先生方をはじめ、沢山のご紹介をいただきました。誠にありがとうございました。今年度は更にご紹介いただけるよう、広告等でも広くお知らせして参ります。



2 後方支援業務

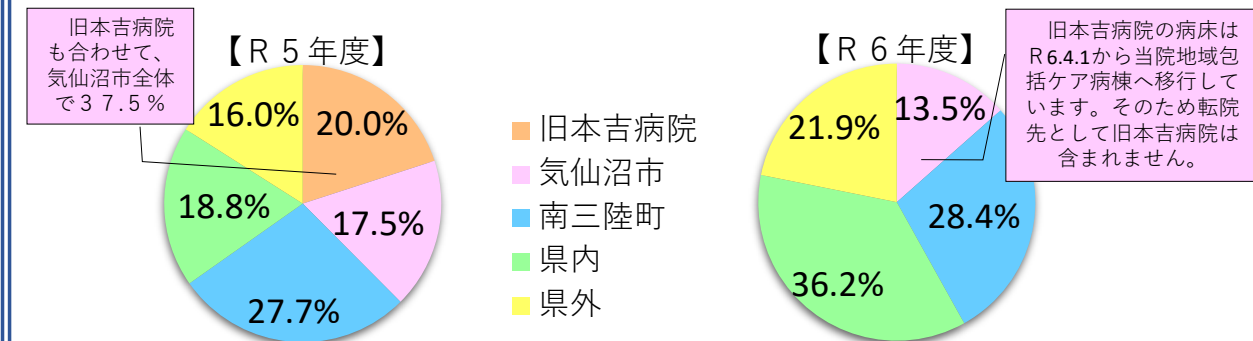
【主な業務】 入院患者様の退院に向けた支援

【実績】

- （1）退院支援者数（延支援者数）**45, 536件**（前年度比較**+3, 752件**）
- （2）**転院先医療機関の地域別割合**は以下のとおり。

令和5年度と比較すると、気仙沼市内への転院が少なく、県内や県外への割合が増加している傾向です。医療機能再編により旧本吉病院が無床化となったことなど、転院可能な市内医療機関が減少したことが要因と考えられます。

転院先医療機関の地域別割合



3 医療相談

医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）が病気やけがによる不安・医療費や生活費・年金や労災・社会保障制度の活用に関することなど、様々なご相談に応じています。

【実績】

- 相談件数
- （1）入院分 **1, 840件**
 - （2）外来分 **514件**
- 合計 **2, 354件**
前年度比較 **+520件**

令和6年度では、在宅療養の援助や社会保障制度について多くのご相談がありました。

相談件数の推移 単位：件

